

# しつけと幼児心理学？



親御さんの子育ての関心度で高いことは何でしょう？

あるアンケートでは親御さんの子育ての関心度高さ1位が「しつけ」・2位「健康」  
3位「将来への貯蓄」・4位「栄養バランス」  
になっています。

今回は中でも最も関心が高い「しつけ」について幼児心理学の面からのアプローチをご紹介します！

しつけには「指示的しつけ」「自立促進的しつけ」「励ましのしつけ」があり、子供は指示的しつけよりも、自立促進的しつけ、励ましのしつけにより自分で考え行動できる力が育ち、人間として必要な規範意識や道徳心を持てるようになります。



具体的には

「自立促進的しつけ」は

叱ってしつけるのではなく、出来たことは大いに褒める→出来ないことはやり方を伝えてやってみせる・いけない行動にはその理由と親の気持ちを伝える→見守る→出来ていたら褒める。

「励ましのしつけ」は

出来たこと、頑張ったことに「すごいねえ～」、「えらいねえ～」と褒めてあげ、幼児期後期になったら「～が良かったね」と具体的に褒めてあげ、この行動は良い行動と認知させ、自信をつけさせる…と言う具合です。

しつけは上から押さえつけ強制してやるのではなく、しつけをする中で自信を持てるようにしていくのが大切です！